



ごあいさつ

このたびは「楽園」をテーマに描く画家・長沼 慧 (ながぬま けい) による大阪会場初となる個展を開催いたします。

誰もが心の奥に持つ“理想郷”。本展では、その遥か向こうに広がる、楽園の風景を、描きました。

色とりどりの花々、果実の木々、動物たちが紡ぐ、豊かな時間の物語——

記憶や憧れと重なり、心の旅が始まります。

独自技法の雲母壁面画(きらへきめんが)は煌めく絵肌が特徴で、原画ならではの唯一無二の輝きをお届けします。

本展では雲母壁面画作品をおよそ40点出品いたします。作者本人と語らいながら、ぜひ楽園の旅をお楽しみください。

※作家各日在廊予定
都合により変更となる場合がございます。



「陽だまりの花園」
雲母壁面画 SM 号 77,000 円

長沼 慧

Kei Naganuma



1990年 神奈川県川崎市生まれ
2012年 日本工学院八王子専門学校鍼灸科卒業
2016年「グループ展」伊勢丹浦和店
2018年「グループ展」
阪神梅田本店 (同 '19)
2020年「EGC 展」阪神梅田本店 (同 '19,'21)
「アートコレクターズ」掲載
2021年「三人展」伊勢丹立川店
「EGC 展」福屋八丁堀本店
2022年「個展」伊勢丹浦和店
2023年「個展」東武船橋店
2024年「個展」伊勢丹立川店
「個展」福屋八丁堀本店
「個展」伊勢丹浦和店
2025年「個展」山口井筒屋
他、多数



ホームページ



Twitter (X)



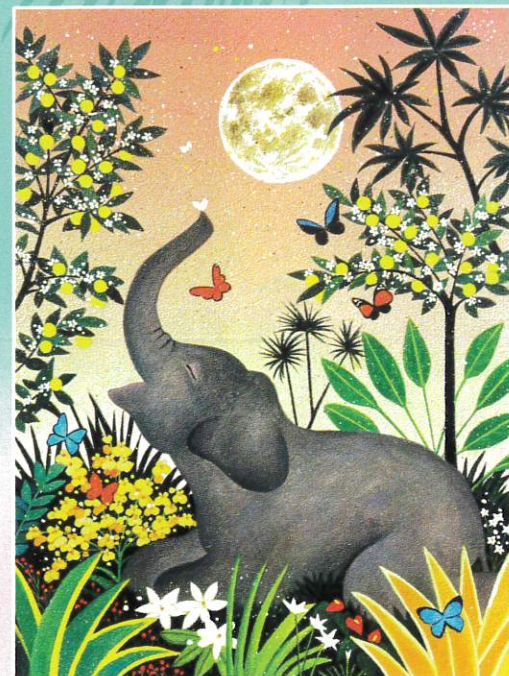
Instagram

表紙作品:「七色の夢―桃色のまどろみ」
雲母壁面画 34×25.4cm 165,000 円

桃色に染まる空の下、静かに目を閉じる子象。
まわりには甘く香る花々と、舞い踊る蝶たち。
満月の光に照らされながら、すべての命がやさしく呼吸し世界はそっと夢の中へ。

「七色の夢」シリーズのはじまりとして、桃色の空に包まれた楽園の情景を描きました。

長沼慧 絵画展 かなた ―楽園の彼方―



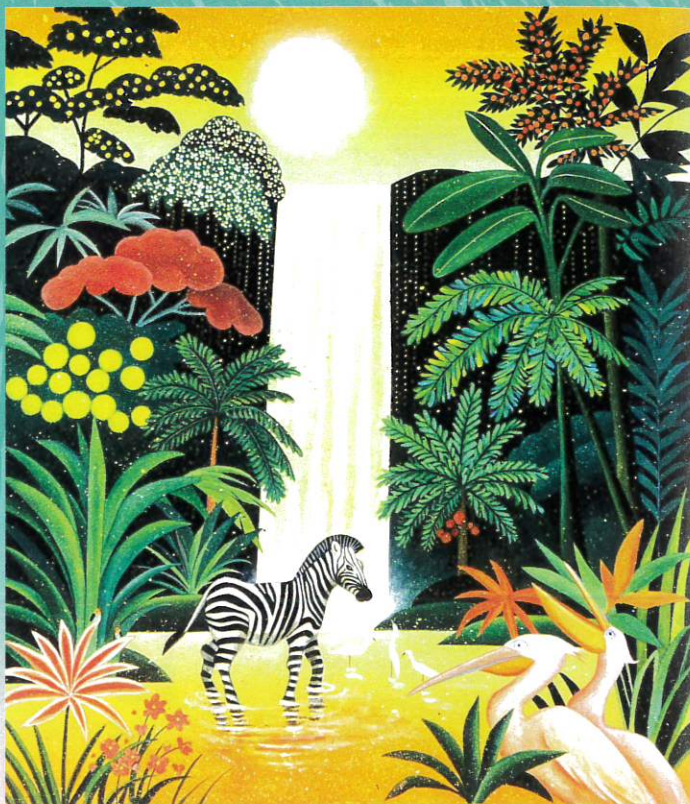
「七色の夢―桃色のまどろみ」雲母壁面画

■ 9月24日(水)→30日(火)
(最終日は午後5時まで)

■ 8階: ハローカルチャー 1

ISI
HANSHIN
電話 06-6345-1201

※営業日、営業時間は変更になる場合がございます。
詳しくはHP等でご確認ください。



「黄昏の楽園」
雲母壁面画 F10号 396,000円



「水平線の彼方へ」
雲母壁面画 M8号 330,000円



「花降る楽園のまどろみ」 雲母壁面画 SM号 77,000円



「満月の夜」
雲母壁面画 SM号 77,000円

● 雲母壁面画とは

雲母壁面画(きらへきめんが)は漆喰状の下地にアクリル絵の具と雲母などの鉱物をブレンドした絵の具で描く独自の技法になります。たくさん色が自然界にあるように作品の中にも幾つもの色を重ねて描いており、雲母などの顔料により画面がきらきらと輝くようになっています。

動植物と星空のように散りばめた色が織りなす世界を、ぜひご覧ください。



※表示価格は消費税を含んだ税込価格です。

長沼 慧 初個展 ～レイテ 忘却の楽園～

雲母壁面画(きらへきめんが)という独自技法を編み出し、一貫して楽園を描き続ける長沼 慧さんの初個展です。

世界中に楽園伝説はあります。アルカディア、桃源郷、常世など。

太古のギリシャではレイテの水で全てを忘れてから生まれ変わるという神話がありました。忘却の川や忘却の泉と呼ばれるそれです。この画家の産み出す楽園は日常の喧噪を忘れさせてくれます。

素晴らしい忘却の楽園を作者自身の解説でどうぞお楽しみください。

EGCプロデューサー
細密ペン画家 與倉豪